

しあわせ

No.132

ご協力ありがとうございます。

令和3年度

歳末たすけあい募金 & 赤い羽根共同募金

新たな年を迎える時期に、地域のみなさんが安心して暮らすことができるよう、若松区民の皆様のご協力をいただき、昨年12月に歳末たすけあい募金を行いました。

皆様のあたたかいお気持ちが数多く寄せられ、総額 1,155,342円になりました。

この募金は、支援を必要とする低所得世帯等への見舞金や校(地)区社協で行われる世代間交流などの事業に対する助成、高齢者等見守り訪問活動等に活用させていただきました。詳細は、次のとおりです。

募金にご協力いただいた区民の皆様をはじめ、民生委員や各校(地)区社協等関係団体及び地元企業の皆様に心からお礼を申し上げます。

1	支援を必要とする低所得世帯等への見舞金	32,000円
2	校(地)区社協で行われる世代間交流などの交流事業に対する助成	100,000円
3	地域福祉活動者による年賀状配布事業	80,000円
4	高齢者等見守り訪問活動事業	643,342円
5	ふれあいいきいきサロン支援事業	300,000円



地域福祉活動の財源として 活用されています！

また昨年10月1日から今日まで、赤い羽根共同募金の募金活動にご協力いただきました若松区各自治会、民生委員・児童委員、校(地)区社会福祉協議会及び共同募金会評議員会の各団体の皆様、ありがとうございました。

あわせて趣旨に賛同し、募金をしていただいた各自治会、まちづくり協議会、その他の区内各種団体、保育所、企業、官公庁の皆様、街頭募金等で募金いただいた区民の皆様並びに募金箱の設置にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

赤い羽根共同募金の期間は3月31日まで続きます。ご協力いただきました募金は、令和4年度の若松区社会福祉協議会の活動費、県内の民間福祉施設の整備費等に活用されますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。



共同募金はこの広報紙発行にも役立てられています。

「たかす・ふれあいカフェ」を開催しました（高須地区社協）

10月12日(火)に高須市民センターで、認知症の方を介護している家族の方の語らいの場を初めて開催し、6組7名の方が参加されました。まず、リラックス運動をしてから、参加者の自己紹介が行われました。皆さんが具体的な介護の実態を話される中、他の参加者から「おむつ給付」や「介護タクシー」についての質問も出て、自己紹介だけで50分を過ぎました。予定時間を1時間としていたので、最後に参加者にそれぞれ感想をいただきました。「話を聞いて皆さんが偉いな、優しいなと感じた。」



進行をする香月会長

「イライラする。優しくできない。そんな気持ちのはけ口が欲しかった。続けてほしい。」「何かお役に立つことがあれば、手助けをしたい。」「1日1日を大切に過ごしている。」「認知症介護の初心者なので、皆さんの話をまた聞きたい。」会長から、何かあれば、近くの福祉協力員や高須地区社協に連絡して下さいと伝えて終了しました。

また12月7日(火)には2回目が開催され、その場でも有償運送サービスについてや、見守りが必要な高齢者を在宅で介護しているご家族が、介護疲れでリフレッシュ、外出したい時に使える「高齢者見守りサポーター派遣事業」についての情報交換が行われるなど活発な会議となりました！

《あおば Go!Go! 手伝い隊》フォーラムが開催されました(青葉台校区社協)

10月3日(日)に青葉市民センターで【青葉台の高齢化。どう「助け合う」、「支えあう」】をテーマに、「《あおば Go! Go! 手伝い隊》フォーラム」が開催されました。青葉台地区社協の橋田副会長が進行を務め、民生委員・児童委員、市民センター館長、ボランティア活動者、青葉台地区社協会長の4名がパネリストとして、若松区社協の木下所長がアドバイザーとして参加し、パネルディスカッションが行われました。現在、青葉台の高齢化率は、22.4%で低いように感じますが、10年後には推計約47.7%と、住民の半数が高齢者となる状況にあります。また2025年には、高齢者の5人に1人が認知症になるといわれており、認知症の方の増加も見込まれます。このため、市民センターの講座を通じた仲間づくりや、支援が必要な人を支える民生委員・児童委員活動、社協のふれあいネットワーク活動、また



フォーラムの様子

自身の生きがいにもつながる様々なボランティア活動、さらに地域とつながり、交流が始まるきっかけである「声掛け」の重要性について話し合いました。

最後に、先日実施したアンケートを基に、来年5月を目処にスタート予定の支え合いの体制「《あおば Go! Go! 手伝い隊》」の紹介もあり、今後の動きにも注目です！

障がいのある方の「その人らしい生活を実現するための」

聴くから暮らす・働く・学ぶ・楽しむをサポート 施設見学・無料体験受付中 お気軽にお問合せください



社会福祉法人 すみれ会

障がい福祉サービス事業所 すずらんホーム

〒808-0104

北九州市若松区大字畠田25-1

☎(代)093-772-1177

社会福祉法人 すみれ会

検索



【聴く】相談支援センターすずらん(一般・特定)

【暮らし】共同生活援助(グループホーム)

短期入所(ショートステイ)

若松すずらんホーム(20名+短期2名)

八幡西：折尾・陣原

小倉：城野・日の出

【楽しむ】生活介護事業所すずらん

【働く】就労支援センター(就労継続支援B型)

陣原：就労支援センターすずらん

折尾：折尾就労支援センターすずらん

八幡：八幡東就労支援センターすずらん

【学ぶ】カレッジ北九州(就労移行・自立訓練)

令和3年10月 高齢者のデイサービスを「折尾駅徒歩5分」に新規オープン

リハビリ専門職多数在籍 介護予防、後遺症等のリハビリを提供

～日常に彩りを/ココロとカラダを元気に～

デイサービス折尾すずらん ☎693-2511



共同募金はこの広報紙発行にも役立てられています。

ボランティア通信

ぽんぽん船コーナー



ボランティアウィーク2021が 開催されました

10月16日(土)～23日(土)にかけて、ボランティアウィーク2021がウェルとばたで開催されました。期間中は様々なテーマで複数の講座が実施されました!

若松区ボランティア連絡協議会からは、初日に中ホールで行われたオープニングイベントのトップを飾り、ボランティア公共楽団「らるご」のみなさんに演奏していただき、会場は大いに盛り上がりました。素晴らしい演奏でたくさんの方から、賞賛のことばをいただきました。本当はもっとゆっくり聴きたかったのですが、今回は限られた時間での演奏でちょっと残念でした。

若松区内でのイベントなどにお声掛けいただければ、演奏を聴いていただくことができます。ご希望の方は、若松区ボランティアセンターまでご連絡ください。

【若松区ボランティアセンター ☎761-2208】



▶ 学生ボランティアサークルの皆さんが研修に参加しました!

11月23日(火)玄海青年の家で、「災害ボランティア活動の基礎知識」「被災の現状と活動」の2つをテーマとして、災害ボランティア養成講座を開催しました。

この研修には、地域の活動者だけでなく、北九州市立大学のボランティアサークル「北九大3Club」の学生にも参加していただきました。「北九大3Club」は日頃から地域住民と学生が交流できる場を設け、コミュニティを形成し、災害発生時に迅速な対応を取れるようにすることを目的に、地域と繋がっていきたいとの思いで活動を行っており、この研修が顔合わせのきっかけとなりました。ボランティアセンターとしても、こういった若い世代を地域へ繋ぎ、次世代に地域福祉のバトンが繋がっていくよう、これからも頑張っていきます!



北九大3Clubの活動紹介

高齢者・障がい者のバリアフリーリフォーム専門

介護保険
住宅改修



※より1本から50K
お見積り
無料

☎093-616-7384

北九州市すこやか住宅推進協議会会員
株式会社 ウェイクホーム 北九州市八幡西区小嶺台3丁目6-38
建設業:福岡県知事許可(般-1)第108204号

【原則20～64歳対象】

障害年金をもらい忘れて いませんか?



障害年金とは、病気やケガで日常生活や就労に支障が生じている方に支給される公的な年金のひとつです。

- | | |
|--|---|
| <p>支給例</p> <ul style="list-style-type: none"> ●うつ病で障害厚生年金2級110万を受給 ●脳梗塞で障害厚生年金2級185万を受給 ●腎不全で障害基礎年金2級78万を受給など | <p>備考</p> <p>精神疾患・知的障害・人工透析
脳出血・心臓病・肢体障害
人工関節・ICD・がんなど他多数</p> |
|--|---|

☎093-533-8200(8:00～21:00)

社労士による無料相談受付中です

北九州 障害年金サポートネット

運営:平井社会保険労務士事務所 北九州市小倉北区船場町2-10 近藤会館4階A号



共同募金はこの広報紙発行にも役立てられています。

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現のために皆様のご協力をお願いします!!

若松区社会福祉協議会では、区民の皆様から寄せられた一般寄付、香典返し寄付等を地域で暮らす方々が共に助け合い、支え合う福祉のまちづくりの貴重な財源として活用させていただいています。

例えば、地域の福祉協力員等によるふれあいネットワーク活動推進事業（ひとり暮らし高齢者等の見守り訪問活動）や地域で行われる敬老行事等に使われています。

区民の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

詳しくは、若松区社会福祉協議会へお問い合わせください。



ご寄付ありがとうございます。



「社会福祉に役立ててほしい」と本会にご寄付がよせられました。受領いたしました皆様のお気持ちは、社会福祉事業のため、有意義に使わせていただきます。ご寄付いただいた方々は次のとおりです。（令和3年9月16日～令和4年1月15日受付分 敬称略）

● 一般寄付

● 令和3年10月
(有)秀文社印刷

● 団体会員

修多羅校区社会福祉協議会
高須地区社会福祉協議会
(株)ボーディ・ヘルスケアサポート
若松区第38区青葉台自治会
(有)北電工

● 個人会員

(浜町)
大石紀代子
(古前)
匿名 一件
(高須)
香月 英彦
田代 香
山口 保浩
前田 忠行
山本 直子
渡辺 紀早子
香月 利都子

(江川)

匿名 四件

(青葉台)

茅嶋かおる
伊藤みどり
北川久美恵
北川 龍次
富松 浩二
白水 滋
中村 清春
升野 芳秀
三浦 功一
下田 恭子
安田 恭子
徳原津代子
藤原 健
工藤 文子
山元 尚子
森田 伸明
岩佐 勝己
大石 恭子
光延由起子
北川 雄治
長野 美和
武方 秀俊
藤川 隆志
加藤 義男
今村 史子
久武 操
徳原 英利
橋田 次夫
片岡 季子
石橋 真由美
岸上 由利子
菊次 垂紀子
長野 和彦
下村 良一

賛助会員を募集します!

若松区社会福祉協議会では、社会福祉に関心のある方、社会福祉協議会の活動に賛同される方を対象に賛助会員を募集しています。会費は次のとおりです。



個人会員 一口 1,000円

法人・団体会員 一口 10,000円

詳しくは、若松区社会福祉協議会へお問い合わせください。

今年の干支

脳トレチャレンジ～「虎」(トラ)からの挑戦状～

① 虎が9匹乗っている乗り物は？

ヒント…9(きゅう)ではなく別の読み方を

② 虎が旅行に必ず持っている楽器は？

ヒント…コロナ禍の旅行はGOTOS

③ ドラマや映画に必ず出てくる虎は？

ヒント…このトラは大勢必要です

④ 1万匹の虎を売っているヒーローは？

ヒント…歴代では50人程度もいるシリーズ

⑤ 3mのくさりに繋がれた虎は、何m先の草を食べるでしょう？

ヒント…問題文をよく読んで考えよう

全部解けたら今年はいい年になるかも？



※回答は若松区社協 HP に記載されています。次回の脳トレコーナーをお楽しみに!